## 2016, 11, 27 ヤケ山・ヤケオ山・釈迦岳縦走記録

小雨が降っていましたが、霧のかかった幻想的な景色・尾根歩きでは雲海の高島地区の眺望・ナメコ収穫体験・ブナの樹幹流など、この時期ならではの山歩を楽しみました。揚梅の滝から登り、しばらくすると、彦根からのMさん・Oさん「良いコースですね」ナメコ収穫では、「はじめてです。」と楽しそう。大阪から参加のSさんは、「今日のコース、はじめてで楽しみにしてました」と言われ、ナメコをたくさん収穫され、いつもように優しい笑顔で満足そうでした。また、ナメコを触った手は、「水道水で洗いましょう。ブナの木の幹に手を当てると、洗えるよ・・」「本当だ・・」「樹幹流・・って言います。ブナの樹形が水を集めるように出来てるそうです。」や雲海の景色も「きれいですね」「これは今日だけのものですね」とお写真をパチリ。帰りには、「良いコースでした。」と、みなさん、満足そうでした。今日も自然に感謝。出会いに感謝の一日でした。

- ◆歴史①揚梅の滝 特徴 分岐斜瀑、二条分岐瀑 滋賀県下一の落差を誇る滝。比良山系の北東方向きの琵琶湖に流れる滝川(たきがわ)上流にかかっています。雄(お)滝・薬研(やけん)滝・雌(め)滝の3段に分れ、合計の落差は76mです。命名は、悲劇の将軍足利義輝(あしかがよしてる)といわれ、部下のクーデターで近江の国に逃れ、比良・北小松(きたこまつ)で遊んだときに命名したと伝えられています。
- ◆歴史② ブナ 近年の加工技術の進歩により、ブナ材は家具材やツキ板として使われるようになった。しかし、ブナには受難の時代がありました。戦後、ブナは材として、狂いが大きく、腐りやすいため、役にたたない木として、大量に伐採されたのです。いわゆる「拡大造林」です。ブナに代わって、スギやヒノキなど建築用材として利用できる苗木が植えられました。拡大造林は全国規模で行われ、ブナ林は次々と人工林に置き換わりました。当時のことを「ブナ退治」などと表現する人もいるくらいで、ブナにとっては受難の時代でした。1993 年、日本の白神山地のブナ林が世界自然遺産として登録されたのです。白神の原生的なブナ林が、人の手が入らずに広い範囲にわたって残っており、ツキノワグマやニホンカモシカなどの大型哺乳類や84種の鳥類が棲息して、豊かな生態系を保っていることが世界自然遺産に選ばれた理由です。世界遺産は人類が持つ宝。世界の人々に日本のブナ林が知られることになったのです。
- ◆自然観察① ブナの実の豊凶 ブナが豊作だと、野ネズミが大繁殖すると言われる。2005年は東北~北関東が大豊作だった。 クマさえ06年は子だくさんと言われている。一般に木の実は、動物たちに全ての実を食べられてしまうのを防ぐため、定期的な豊凶 の波を持つ。これをマスティングと呼ぶ。しかしブナには豊凶の定期性がないとされる。次の豊作は1年後かもしれないし、7年後か もしれない。豊凶の落差が大きな毒である。2006年に増えた野生動物は、食料難で苦しむのだろう。
- ◆自然観察② 樹幹流 ブナの幹の上を降った雨が川のように流れているのを樹幹流という。ブナの葉の落ちた雨が、葉の付けねから小枝に伝わり、中枝、最後は主幹に集まり、幹の上を流れ落ちて、根元の土に吸収されます。

## ◆トレッキングの様子



揚梅の滝を眺める



ヤケ山



落ち葉踏みしめ登る



雲海 タンヤマノ頭から

下山コースでも楽しめました。



ヤケオ山昼食 イワナシの蕾:厳しい冬を越すのよ



釈迦岳山頂 1060m



◆ナメコの保存方法を伝授しました:洗って、トレーに並べ、サランラップを敷いて並べ、サランラップで覆い冷凍保存します。例えば味噌 汁の場合は、使う分を凍ったまま鍋に入れ加熱します。今日の思い出とともに楽しんでください。